

2020シーズン（公財）東京都サッカー協会三種委員会 事業開催時の感染症対策ガイドライン

項目	運用	備考	
1. 感染対策責任者（各会場）	体温計持参・消毒液持参・石鹸持参	当日の会場幹事チームの責任者(代表者 or 監督)	
2. 参加人数			
(1) チーム		①チーム関係者（選手、スタッフ、感染のために来場したチーム関係者の検温記録は、試合開催14日前からのDデータをチームで保管。 ②会場幹事チームの責任者は、来場した各チームの感染対策責任者から来場者リストの提出を求め、1か月間保管。 ③チーム感染対策責任者は保管しているデータを行政および会場から提出を求められた時は速やかに対応する。	
①選手（交代要員含む）	会場までの移動時はマスク着用・試合開始前・終了後は手洗いの励行		
②スタッフ（チーム関係者含む）	会場までの移動時はマスク着用・試合開始前・終了後は手洗いの励行		
③記録員	対戦チームで準備・マスク着用		
④ボールパーソン（原則なし。配置の時は）	対戦チームで準備・マスク着用		
⑤担架スタッフ（原則なし。配置の時は）	対戦チームで準備・マスク着用		
⑥MC（配置しない）			
⑦東京都派遣審判員（主審・副審）	事務局派遣依頼		入場時に検温及び検温記録の確認
⑧第4の審判員（配置しない）			
⑨チーム相互審判（各チームで準備）	状況に応じては、対戦チームで準備もありとする		
(2) 運営スタッフ			
①感染対策責任者(特定する)	1名（会場幹事チームの責任者が兼ねる）	消毒液・石鹸等の持参 到着時には手洗い励行	
②運営スタッフ	対戦チームで用意		
(3) 観客 原則、すべて無観客試合とする。チームが検温などの記録を管理できていない方は入場できない。			
①チーム関係者	来場者リストに記載の者に限る	チーム入場時に「来場者リスト」を提出・入場時に検温確認	
②一般の方	無観客試合	原則、保護者等の観戦・応援禁止	
3. 会場設備			
(1) チーム控室	換気・大きな声で話をしない	会場の利用規定に従う 原則、利用しない。どうしても必要な場合は、三密にならない、交代制や時間制限などの条件のもと最小限の利用とする	・ドアノブ等の消毒（チーム責任者） ・ドア、窓の開放（換気） ・マスク着用 ・入室中の会話は最低限
(2) 審判控室	換気・大きな声で話をしない		
(3) シャワー	利用中止		
(4) チームベンチのテント	密にならないよう配慮させる（テントの数を増やすなども）	暑熱対策のため、必須	・テント内では距離を空けて着席

◆共通事項

項目	運用	備考
1. 前日までの準備		
(1) 来場者リスト（グラウンドに入る全員）	原則プリントアウトしたものを当日会場で提出する	リスト掲載者の ①検温②健康確認書は、チームが持参。
(2) ドリンクの準備	1本ずつに名前を明記(背番号でも可)	スライズボトル、ペットボトル共通（複数人で共用禁止・不可）
2. 試合当日（出発～会場到着）		
(1) 朝、検温	検温後、「健康申告書」をチームが取りまとめる	試合日の14日前からの検温チェックシートのデータをチームとして取りまとめる
(2) 移動時のマスク着用		マスクがない場合、試合会場に入場することができない
(3) 入場時の消毒		必要な都度、うがい・手洗い・消毒
(4) 移動手段の確認	会場入りの導線確認	チームバス・自家用車・公共交通機関など
3. 会場到着～試合準備		
(1) 参加者リスト提出	プリントアウトしたものを感染対策責任者へ提出	「参加者リスト」掲載者全員分の健康チェックシートがチームで保管されている状態
(2) マスク着用	ウォーミングアップ時以外はマスクを着用	選手以外は、ウォーミングアップ時も含めて常にマスクを着用する
(3) 更衣	感染対策責任者の指示に従う	更衣は速やかに行い、会話は最低限
(4) チームミーティング	原則、屋外で実施	
(5) マッチコーディネーションミーティング	実施の場合は、原則、屋外	MC、チーム1名、主審のみ出席・時間5分以内・マスク着用・握手なし
(6) 観客扱い以外の方	無観客試合	近くの人たちが観戦にくる場合、試合関係者に接近しないよう導線確保
4. 試合中		
(1) レフェリーチェック（キックオフ5分前）	ベンチ前では行わず、半面でのボール回しの中で行う	レフェリーに呼ばれた選手が移動し、チェックを受ける（ピッチ入場はせず、そのまま試合開始）
(2) コイントス	上記終了後、実施（主審と両主将の3名のみ）	2m以上の距離を確保し、握手はなし
(3) 集合写真	なし	実施する場合、①会話なし ②接触（肩を組む等）なし
(4) 円陣、握手、ハイタッチ、抱擁	なし	得点シーン等でのハイタッチ等は禁止
(5) ドリンク	自分専用のボトルのみ、飲める	口に含んだ水をフィールド上に吐かない
(6) ケガ対応	手や肩を貸さず、担架を利用する	
(7) マスク着用	ベンチ内ではマスクを着用	監督の指示以外の会話は極力控える
(8) 終了後セレモニー	なし	相手ベンチへの挨拶も実施しない
5. 試合終了後		
(1) 手洗いうがい	まず実施	
(2) 次チームのためのベンチ消毒	会場責任者の指示のもと各チームが協力して行う	
(3) マスク着用		
(4) 更衣	感染対策責任者の指示に従う	更衣は速やかに行い、会話は最低限
(5) シャワー	感染対策責任者の指示に従う	原則、中止。但し、環境や状況により。人数・時間制限あり
(6) MC反省会	配置されていても、原則なし	重要事項の確認のみ、シンプル、ショート、クリアで行う
(7) レフェリー反省会	原則なし	
6. 会場離脱～帰宅		
(1) 速やかな帰宅（直帰）		
(2) 帰宅後の検温	ニューノーマルとして継続的に対応する	
(3) 感染者発生の場合	試合後14日以内にチームの中から感染者が出た場合、三種委員会事務局に速やかに報告（レポートライン厳守）	